



運動部ニュース 24年度 No. 6

2024年9月2日 全日本年金者組合(運動部)

マイナ保険証をつくらなくても大丈夫！ 健康保険証は12月2日以降も使えます！！

国はマイナ保険証の普及に躍起になっています。テレビで「今の健康保険証は、今年12月2日 新規発行が終わります」というCMが流され、なかやまきんに君や王林さん、内藤剛志さんなど芸能人が、マイナ保険証は便利だと強調しています。また、病院や薬局の窓口で「マイナ保険証」を利用するよう執拗な呼びかけが行われています。背景には、総額217億円を使った政府の利用促進キャンペーンがあります。

しかし心配はありません。マイナ保険証やマイナンバーカードを持っていなくても、これまでどおりに医療機関で保険診療を受けられます。マイナンバーカード・マイナ保険証の取得や登録はあくまでも「任意」です。

健康保険証は有効期限まで使えます

薬局・医療機関から12月2日で健康保険証が廃止されるため、マイナ保険証を作るように言われました。マイナ保険証が無いと医療が受けられなくなるのですか、などの声が上がっています。

大丈夫です。12月2日以降も、現在ある健康保険証は有効期限が切れるまで、後期高齢者は2025年7月末まで、今まで通り使えます。12月1日より前に発行された健康保険証は、最長1年間、その有効期限が切れるまで使えます。お手元の健康保険証は絶対に捨てないでください。

申請なしで資格確認書が送られてきます

マイナンバーカードを持たない人やマイナ保険証の登録をしない人には、保険証の有効期間が切れる前に、資格確認書が申請なしで自動的に送られてきます。**マイナ保険証をつくらなくても大丈夫！**

資格確認書は、保険証と同じに使えます

今の健康保険証の有効期限が切れたあとは、「資格確認書」で、現在の健康保険証と同じように医療機関の窓口で見せるだけで、マイナ保険証がなくても医療はこれまでどおり受けられます。

マイナ保険証の利用登録解除も可能に

マイナ保険証の利用登録の解除が10月末頃からできるようになります。マイナンバーカードは使うが保険証としての利用はしない、「資格確認書」を使いたいなどの場合は、利用登録の解除をすれば、「資格確認書」が交付されます。

原則、紙の申請用紙で、加入している医療保険者に登録の解除を申請するとされています。

マイナ登録は個人情報を提供すること

マイナポータル規約4条は「デジタル庁に自分の本人情報をいついかなるときでも閲覧されることに同意したとみなされる」、11条は「金融機関に口座情報を照会することに同意したとみなされる」となっています。

マイナンバーカードを持つことは「自分の個人情報を国に自由に使ってください」と同意したことになります。

自分の病歴、税・所得、医療費の支払い、年金支払額や年金生活者支援金、公金受取口座、児童手当、ひとり親家庭、就学支援金、住民記録情報、障害手帳、生活保護情報、雇用保険など29種類の情報を国が把握できることとなります。

マイナンバーカードを持っていない人からは、個人情報を集めることはできません。

すべての国民が安心して保険医療を受けられるように、これまで同様、健康保険証を原則交付とし、マイナカード利用は「任意」とする形がもっとも合理的です。国民の多くが反対する健康保険証の廃止は中止すべきです。